

【コメント】

**新型コロナウイルス感染症対策について**

【発表項目】

**木造仮設住宅を利活用した住まいの再建  
「くまもとモデル」 相良村が第1号に決定！**

**「くまもと半導体産業推進ビジョン」  
の策定について**

【コメント】

**北京オリンピックについて**

# 木造仮設住宅を利活用した住まいの再建「くまもとモデル」 活用決定第1号！（相良村）

昨年（令和3年7月～10月）の仮設住宅訪問時の意見交換

## 被災者の皆様からの声

「このまま木造仮設住宅に  
住み続けたい。」

「再建まで時間がかかるが  
仮設住宅の延長はいつまで  
出来るのか。」



仮設団地訪問時の様子

# 木造仮設住宅を利活用した住まいの再建「くまもとモデル」とは



木造仮設住宅を仮設住宅として利用後

解体するのではなく、市町村へ譲与し

必要な改修、手続きをすることで

住まいの再建先として活用するとともに

公共工事等で再建まで時間を要する世帯も

再建まで安心して生活できる環境を整える



# 相良村が活用する木造仮設住宅

## ○利活用を決定した木造仮設住宅

相良村：松葉仮設住宅 16戸

## ○譲与時期

令和4年8月22日予定  
(供与期間終了時点)

## ○相良村の活用目的

- ①村有住宅<sup>(注)</sup>として被災者の再建先
- ②元地に家はあるものの不安がある方の一時的な住まい
- ③その他空き室を子育て世帯等向け提供 など



(松葉仮設団地)

(注)公営住宅法に基づく住宅ではなく、市町村が条例に基づき管理する住宅のこと

# 住まいの再建「くまもとモデル」の7つの特徴

① 木造で建てているから実施可能！

② 市町村へ譲与し活用することで  
被災者に安心感！

仮設期限を気にすることなく生活できる  
公共事業等で再建まで時間を要しても  
人口流出を抑制できる

③ 再建先として低家賃で入居可能！

建設コストがかからず家賃を抑えられる  
家賃1DK:8,000円程度,2DK:12,000円程度  
3K:16,000円程度

④ 仮設住宅から災害公営住宅までの  
再建のトータルコストを低減！

仮設住宅の解体費、新たな災害公営住宅  
の建設費が不要

⑤ 空室を利用し、創造的復興に活用！

⑥ SDGsの理念にも合致！



12 つくる責任 つかう責任  
13 気候変動に具体的な  
対策を

⑦ カーボンニュートラルに貢献！

解体しての廃材処分がなく、温室効果  
ガス(CO<sub>2</sub>排出量)を抑制できる

平時において、木造仮設住宅の利活用も含めて  
仮設住宅の建設予定地を決めておく

平時に仮設住宅の建設場所を選定し、公園やグラウンド等として有効活用しつつ、発災後すぐに仮設住宅建設に着手できるようにしておく。

更に、将来利活用することを公表することで被災者へ再建の道筋を示すことができるため、安心感の創出や再建の加速化につながる。

# 「くまもと半導体産業推進ビジョン」の策定について

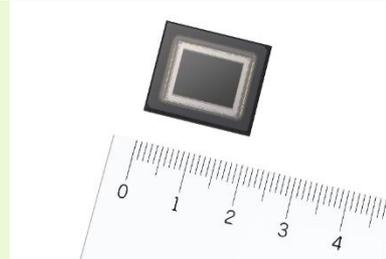
## TSMC進出を機として

- **県内産業の振興と県経済全体の成長に着実に結び付けていく取組みが必要**
- **熊本地震からの創造的復興を目指す本県にとって、50年後、100年後の更なる発展につなげる**

# 「くまもと半導体産業推進ビジョン」の策定について

## 「くまもと半導体産業推進ビジョン」の策定

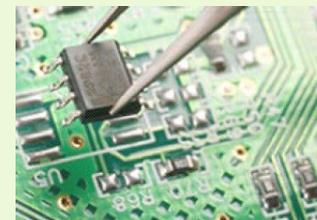
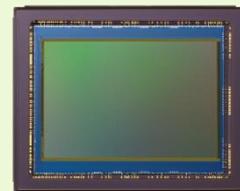
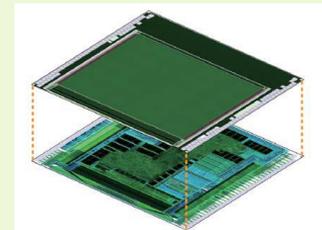
- 今後の半導体産業振興施策の方針となる「くまもと半導体産業推進ビジョン」を策定し、県、企業、大学等が一丸となった取組みを推進する。



# 「くまもと半導体産業推進ビジョン」の策定について

## ビジョンのイメージ

- ① 県内半導体産業のさらなる集積・技術力強化
- ② 県内産業全体への波及・浸透
- ③ 半導体産業の振興による日本の経済安全保障における熊本の存在感強化
- ④ 産学官の連携



# 「くまもと半導体産業推進ビジョン」の策定について

## 策定のイメージ

- 国内トップレベルの有識者の意見を踏まえて策定
- 「熊本県半導体産業集積強化推進本部」で決定

